広島県公立高校の入試選抜方法

■一次選抜

○選抜は、学力検査、調査書、自己表現、学校独自検査などで行われます。

○令和９年度 一次選抜(一般入試)日程

出願登録	令和9年1月21日（木）～2月2日（火）16時
志願変更	令和9年2月10日（水）～2月17日（水）正午
調査書等提出	令和9年2月10日（水）～2月18日（木）正午
学力検査等・自己表現等	令和9年2月24日（水）～2月26日（金）
追検査	令和9年３月3日（水）
合格者発表	令和9年３月8日（月）

１．学力検査

○実施教科は、国語、社会、数学、理科、外国語(英語)の５教科

※外国語(英語)については、放送による聞き取り検査も実施されます。

○試験時間は、各教科それぞれ50分間

○配点は、各教科50点満点で、合計250点満点

※検査問題は、県教育委員会が作成したものが使用されますが、各高校で、課程・学科等の特色に応じ、一般学力検査問題に替えて、自校が作成した検査問題により学力検査を実施することができます。

２．調査書

○学習の記録の評定及び合計評点

ａ　第１学年及び第２学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って５段階で評定されます。

ｂ　第３学年の国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び外国語については、それぞれ指導要録に従って５段階で評定した評点を３倍します。

・調査書の合計評点は、上記ａ及びｂを合計した 225 点満点になります。

■国語、社会、数学、理科、英語、美術、音楽、保健体育、技術家庭科の９教科を
すべて５段階で評価

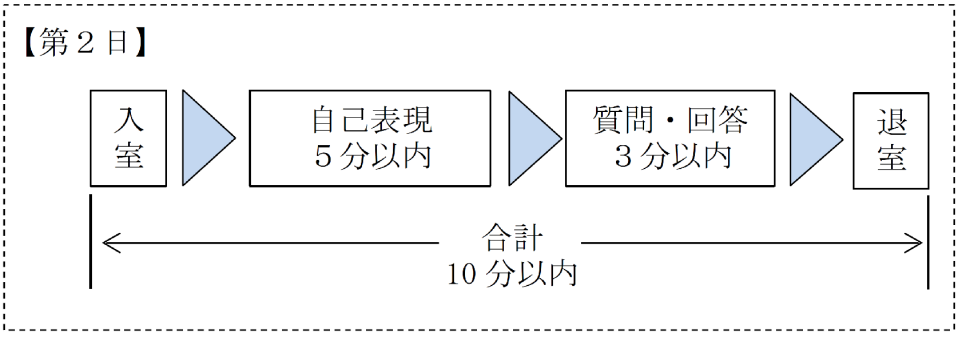
■評定の比重は、「第１学年：第２学年：第３学年＝１：１：３」

中１（４５点）
中２（４５点）
中３（１３５点）
｝合計２２５点満点

３．自己表現

○自己を認識する力、自分の人生を選択する力及び表現する力をみるために、個人ごとの面談形式で実施されます。
○検査日２日目に、１人当たり10分以内で実施されます。
○自己表現の内容及び方法受検者は、自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて、自分で選んだ言葉や方法で表現します。
○配点は、検査官１人当たり15点満点です。
（検査官の人数は、２～３名の範囲内で、高等学校長が定めます。）
○自己表現の基本的なガイドライン
・原則、受検者本人が一人で時間内に準備し、実施できるものです。
・必要に応じて、次の物品を使用することができます。
受検者本人が一人で検査場まで持ち運ぶことができるもの。
安全面で問題がないもの、管理上問題がないもの。
・次の場合に限り、タブレット等を使用することができます。
プレゼンテーションソフトを使用し、画面を提示しながら実施する場合
写真等の画像、音声及び動画を提示する場合（ただし、音声及び動画は30秒以内）

※実施の流れのイメージ



４．学校独自検査

・各高校で、課程・学科等の特色に応じ、面接、作文、小論文及び実技検査等を実施できます。
・各高等で、課程・学科等の特色に応じ、県教育委員会が作成する一般学力検査問題に加えて、自校が作成した問題により学力検査を実施することができます。

○令和８年度 一次選抜(一般入試)学力検査等時間割

2月25日（水）			2月26日（木）	2月27日（金）
時限	時刻	検査教科等	検査等	検査等
1	9：10 10：00	国　語	自己表現 及び 学校独自検査 (実施する高等学校)	予備日 自己表現 及び 学校独自検査 (実施する高等学校)
2	10：20 11：10	社　会		
3	11：30 12：20	数　学		
5	14：00 14：50	理　科		
6	15：10 16：00	英　語		

■合格者の決定

１．特色枠による選抜

○各高校は、入学定員の50％以内について、以下のように、合格者を決定します。

・各高校が、一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重を以下のように独自に定め、一般学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定します。

・一般学力検査及び調査書について、各高校の課程・学科等の特色に応じ、特定の教科のみを活用することや、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができます。

●特色枠による選抜の内容(令和8年度のデータ 一部高校抜粋)

高校名	学科	割合（%）	学力検査					調査書									自己表現	比重		
			国	社	数	理	英	国	社	数	理	音	美	保体	技家	外		学力	調査	自己
基町高校	普通科	30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2倍	2倍	2倍	2倍	●	30	400	400	200
			250					325												
舟入高校	普通科	30	2倍	●	2倍	●	2倍	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30	400	400	200
			400					225												
国泰寺高校	普通科	50	●	●	2倍	●	2倍	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30	400	400	200
			350					225												
皆実高校	普通科	30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30	400	400	200
			250					225												
井口高校	普通科	50	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	30	400	400	200
			250					225												
観音高校	普通科	40	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2倍	2倍	2倍	2倍	●	30	300	300	400
			250					325												

２.一般枠による選抜

○一般学力検査、調査書及び自己表現の配点の比重を６：２：２とし、一般学力検査、調査書及び自己表現の結果を総合的に判断して決定します。

○一般学力検査について、各高校の課程・学科等の特色に応じ、特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができます。

○特色枠による選抜を実施した学科・コースについては、特色枠による選抜により合格者を決定した後、一般枠による選抜により合格者を決定します。

○学校独自検査を実施した学科・コースについては、その結果を選抜の資料に加えて、総合的に判断して決定します。

≪一般枠による選抜≫

学力検査（250点満点）　**調査書**（225点満点）　**自己表現**（30点または45点）

「学力検査」「調査書」「自己表現」の合計を10割として、「学力検査」の得点を６割、「調査書」と「自己表現」の得点をそれぞれ２割で計算し直します。

配点の比重は、　学力検査：調査書：自己表現 ＝ ６：２：２

■二次選抜

○入学定員に満たない高校でのみ実施されます。

○令和９年度 二次選抜日程

出願登録・調査書等提出	令和9年3月11日（木）～3月15日（月）正午
自己表現等	令和9年3月16日（火）市立広島みらい創生高等学校は３月23日（火）
合格者発表	令和9年3月17日（水）市立広島みらい創生高等学校は３月24日（水）

広島大学附属高等学校の入試選抜方法

■一般入試

〇募集人員　男女合計200名（推薦合格者を含む）
⇒200名の中には附属中学校からの内進者も含みます。

〇選考方法
・国語、社会、数学、理科、英語の５科目(各100点)の学力検査
・調査書（100点）
を総合的に判断して合格者を選考。

■推薦入試

〇募集人員　男女合計200名のうち、40名を上限として募集

〇選考方法
(1)国語、社会、数学、理科、英語の５科目(各100点)の学力検査
(2)総合問題(150点)
(3)調査書(100点)
(4)志望理由書
(5)推薦書(活動実績)
※推薦による出願者は、推薦・一般の両方の選考方法で合否を判定

令和９年度広島大学附属高等学校入試日程
※これまで２日間で実施していた検査の内容が、令和９年度より１日で実施されます 。

入学検査	令和9年2月2日（火）
合格者発表	令和9年2月4日（木）

広島県立広島高等学校(広島県立併設型高等学校)の入試選抜方法

■一般入試

〇募集人員　男女合計240名(併設型中学校からの入学予定者数を含む)

〇選考方法
・学力検査は国語、数学、英語の３科目（原則として，自校が作成した検査問題により学力検査を実施）
・調査書や自己表現、選抜方法などは、県立高校と同じ

令和９年度広島県立広島高等学校入試日程
※令和8年度は他の公立高校と同じ日程でしたが、令和9年度より変更となります。

学力検査等	令和9年2月3日（水）～2月4日（木）
追検査	令和9年2月9日（火）
合格者発表	令和9年2月12日（金）